

下水道使用料改定の必要性の検討について

～令和3年度決算状況を踏まえて～

令和5年2月17日

柏市上下水道局 経営企画課

■ 検討の経緯

下水道事業経営委員会答申（要旨）

-R3.2.22-

- 経費回収率 100%を目指した使用料改定
(経費回収率 = 使用料収入 / 経費)
- 新型コロナの影響やコストの抑制などに十分配慮し、さらに審議していく

※ 下水道事業は 独立採算 が原則

⇒ 経費回収率 100% 以上が独立採算の目安

■ 検討の方法

- 令和3年度決算状況を，経費回収率などから分析
- **全国の類似団体**との比較
→ 処理区域人口:10万人以上，処理区域内人口密度:75人/ha以上
- **近隣7市**との比較
→ 千葉市，市川市，船橋市，松戸市，野田市，流山市，我孫子市

比較項目

経費回収率・収支状況に影響が大きい4項目で比較

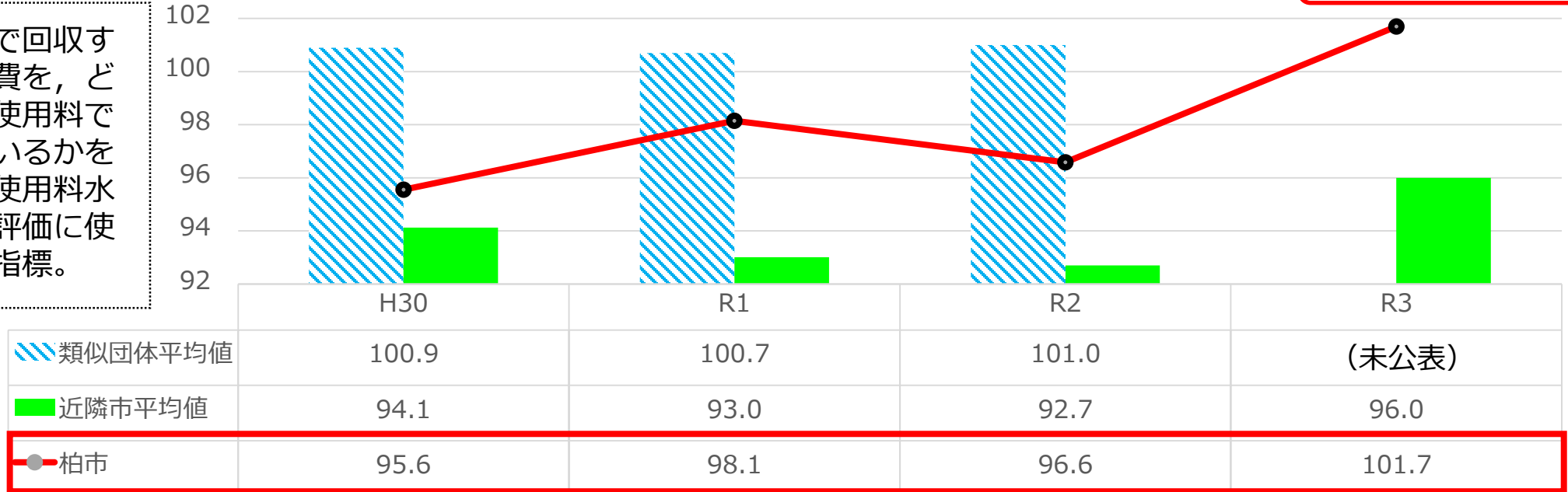
(使用料収入，流域下水道維持管理費負担金，企業債償還額，繰入金 (市税からの補填))

①経費回収率

$$(\%) = \text{使用料収入(円)} / \text{汚水処理費(円)}$$

高い方が高評価

使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表し、使用料水準等の評価に使われる指標。



類似団体の平均値からは下回っているが、近隣市の平均値からは上回って推移している。
使用料改定の目安指標（100%）について、令和3年度（101.7%）は目標達成。

⇒見通し（短期）：悪化か？
 （長期）：悪化か？

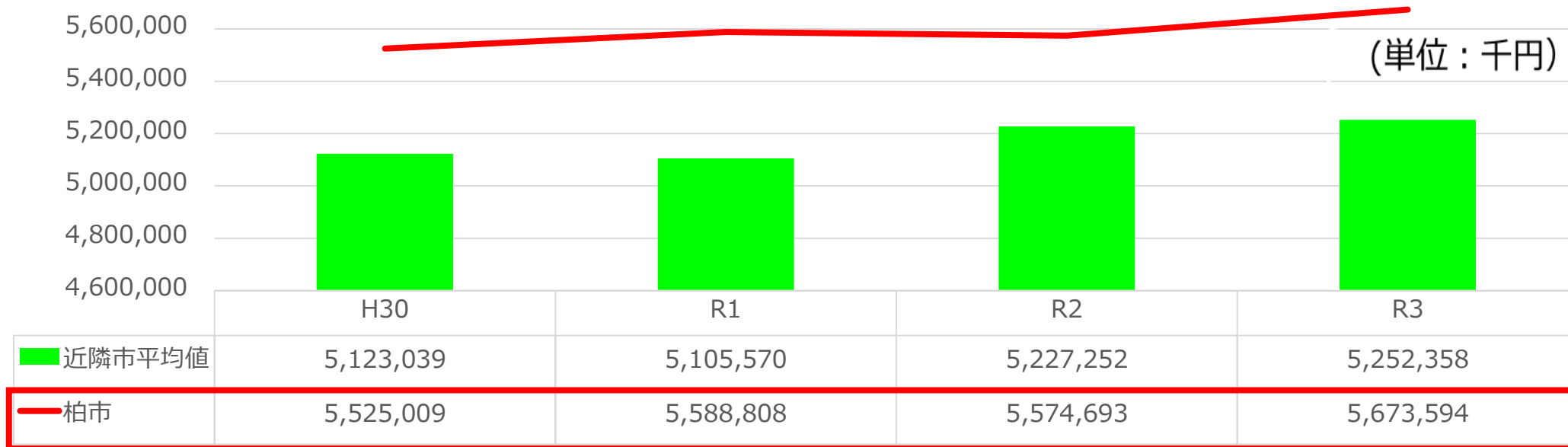
※電力費の動向に注視

※人口減による使用料収入減，管路維持更新費用増

② 下水道使用料 【収入総額】

「雨水公費・汚水私費の原則」

公共下水道施設の汚水処理に必要な経費として使われる。⇔ 雨水処理は自治体（市税）が負担。



近隣市と比べても多く収入できている。新型コロナの影響（一般家庭系の増，事業系の減）が残るも増収を維持できている。

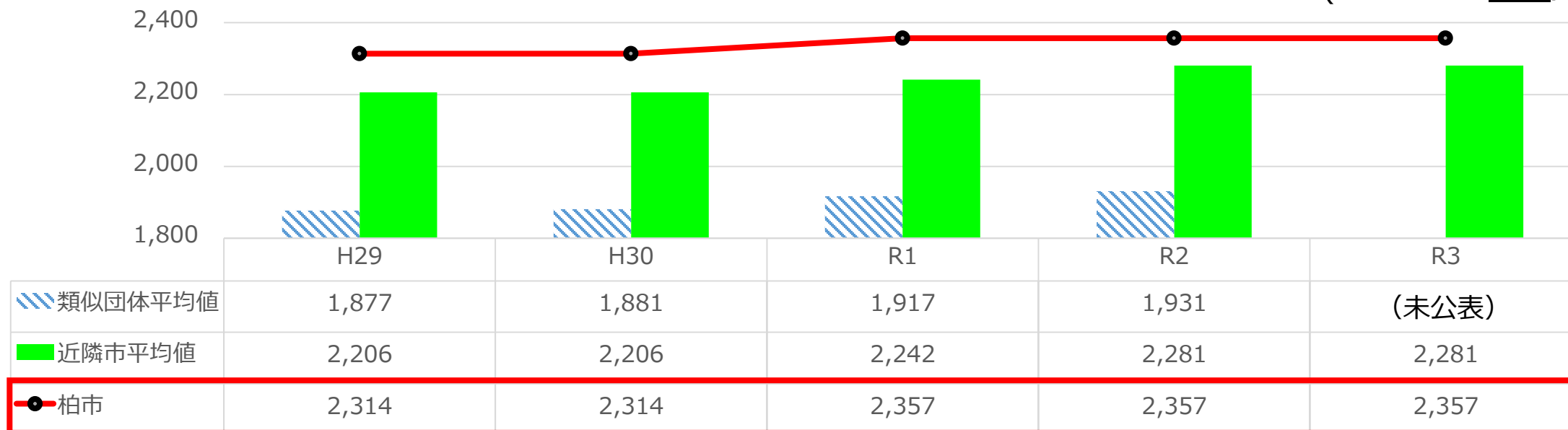
⇒見通し（短期）：横ばい
（長期）：下向き

※未普及地域の解消による区域内人口微増の可能性あり
※人口減 → 使用料収入の減

③ 下水道使用料【水準】

1 か月 20 m³あたり

(単位：円。税込)



類似団体の平均値より約400円高く、近隣市の平均値より少し高いが大きな差はない。
 他団体の平均値に倣い下水道使用料を下げると経常収益が下がり、企業債や一般会計繰入金を増加せざるを得ない状況になるため、電力費の高騰、新型コロナウイルスによる汚水量及び使用料収入の動向も考慮しつつ慎重に判断する必要がある。

⇒見通し (短期) : できる限り現状維持としたい ※現状程度の一般会計繰入金 (市税) の受け入れが前提
 (長期) : 増額改定の必要性検討 ※人口減による使用料収入減, 管路維持管理費用増, 物価や電力費の高騰

④ 下水道使用料【最新：近隣市比較】

※各市ホームページより抜粋

R5.4～改定

R4.4～改定

(単位：円。税抜)

区分	使用水量	柏市	千葉市	市川市	船橋市	松戸市	野田市	流山市	我孫子市	隣接7市平均	
										平均値	柏市を1とした場合
一般汚水	基本料金	543	580	925	690	964	900	900	990	850	1.57
	(100㎡を超えるもの)			(1,900)							
月額使用料	10㎡当りの使用料	1,003	740	925	1,000	964	900	900	990	917	0.91
	20㎡当りの使用料	2,143	1,850	2,395	2,010	2,244	2,100	2,000	2,230	2,118	0.99
	30㎡当りの使用料	3,503	3,370	4,065	3,660	3,864	3,450	3,350	3,540	3,614	1.03
	50㎡当りの使用料	7,163	7,130	8,025	8,260	7,684	6,610	6,650	6,970	7,333	1.02
	100㎡当りの使用料	18,813	18,580	19,975	22,010	22,864	16,760	16,400	20,020	19,516	1.04
	500㎡当りの使用料	135,613	125,380	136,550	140,010	189,364	117,560	125,400	163,220	142,498	1.05
	1000㎡当りの使用料	311,113	273,880	304,050	300,010	410,364	271,060	267,900	342,220	309,926	1.00
2500㎡当りの使用料	837,613	782,380	903,050	825,010	1,073,364	731,560	695,400	879,220	841,426	1.00	
累進度	数値が大きいほど多排水者の負担割合が大きい	3.50	2.74	4.67	3.80	4.59	3.41	3.17	3.62	3.71	1.06

⇒月額使用料の各区分において、柏市は近隣市と概ね同水準

⑤流域下水道維持管理費負担金

当該市の污水排出量×単価

複数市の排出污水を集約し終末処理場で浄化する県の事業において、污水浄化などの維持管理にかかる費用を構成市が負担する。見込排出量をもとに当年度負担し、実績排出量や県の決算状況をもとに翌年度精算。

(単位：千円)

		R1	R2	R3	R4(見込)
柏市 (手賀・江戸川左岸)	決算額	2,688,021	3,138,690	2,908,108	3,272,310
	前年度精算額	-	-	▲588,098	▲110,945

各自治体で終末処理場の有無や属する流域が異なるため、近隣市との比較は行っていない。処理場施設における電力費の高騰などにより、今後は翌年度還付額が少なくなる可能性が高いと想定される。

⇒見通し (短期) : 増加 (悪化) ※処理場施設の電力費増
 (長期) : 横ばいか? ※人口減 → 污水排出量の減 ≡ 単価の増

⑥ 企業債残高

下水道事業は先行投資により施設を整備するため、その負担を全て現世代の使用者に求めると公平性に課題が生じてしまう。その対策として、資本費の一部を後年度に繰り延べて平準化するもの。

(単位：千円)

	H29	H30	R1	R2	R3
近隣市平均	72,973,256	71,402,789	70,169,787	69,000,220	68,268,874
(区域内人口一人当たり)	(162.2)	(152.4)	(147.9)	(143.5)	(140.7)
柏市	39,025,495	37,389,555	35,540,739	33,652,951	31,598,848
(区域内人口一人当たり)	(103.7)	(98.3)	(92.4)	(86.6)	(80.9)

近隣市と比べ、区域内人口一人当たりでは6割程度で推移。高度経済成長期に多く建設し多く借用した残高の返済が順調に進んでいる。

⇒見通し (短期) : 改善 ※企業債借入額 < 企業債償還額 (市税繰り入れの効果も)
 (長期) : 横ばい ※ " ≒ " (更新需要の拡大)

⑦ 企業債償還額【元金・利子】

(単位：千円)

		H29	H30	R1	R2	R3
近隣市平均	元金	5,013,550	5,128,503	5,135,690	5,293,614	5,138,589
	利子	1,381,044	1,282,112	1,179,871	1,073,277	976,149
(区域内人口一人当たり)		(13.553 / 3.733)	(13.410 / 3.352)	(13.249 / 3.044)	(13.513 / 2.740)	(10.501 / 2.028)
柏市	元金	3,143,154	3,123,740	3,102,716	3,129,487	3,102,404
	利子	876,142	793,314	714,454	634,242	556,811
(区域内人口一人当たり)		(8.356 / 2.329)	(8.213 / 2.086)	(8.063 / 1.857)	(8.051 / 1.632)	(7.940 / 1.425)

近隣市と比べ、区域内人口一人当たりでは6～8割程度と少なく推移。
引き続き、施設の計画的な更新により、企業債残高の解消に努める。

⇒見通し (短期) : 下向き ※企業債借入額 < 企業債償還額 (市税繰り入れの効果も)
(長期) : 横ばい ※ " ≐ " (更新需要の拡大, 金利上昇?)

⑧一般会計繰入金【令和3年度近隣市比較】(単位：千円)

基準内 = 制度上，一般会計(市税)からの財政措置が認められる繰入金。雨水処理費など。
 基準外 = 例外的に一般会計から繰入れるもの。企業債償還への補填など。

	千葉市	市川市	船橋市	松戸市	野田市	流山市	我孫子市	近隣市平均	柏市
繰入金① (基準内)	8,109,761	1,228,690	4,832,898	1,881,836	675,976	430,401	419,117	2,511,240	1,370,341
(区域内人口 一人当たり)	(8.5)	(3.3)	(8.3)	(4.3)	(6.2)	(2.3)	(3.8)	(5.2)	(3.5)
繰入金② (基準外)	2,002,621	23,070	1,743,102	1,221,180	220,385	270,249	183,050	809,094	1,329,659
(区域内人口 一人当たり)	(2.1)	(0.1)	(3.0)	(2.8)	(2.0)	(1.4)	(1.6)	(1.9)	(3.4)
繰入金合計 (①+②)	10,112,382	1,251,760	6,576,000	3,103,016	896,361	700,650	602,167	3,320,334	2,700,000
(区域内人口 一人当たり)	(10.6)	(3.4)	(11.3)	(7.1)	(8.2)	(3.7)	(5.4)	(7.1)	(6.9)

基準外繰入金は他市よりも高い水準だが、繰入金合計額としては他市の平均程度の水準

⇒見通し (短期) } 市長部局との調整事項
 (長期) }

■ まとめ

～使用料改定の要否～

使用料改定の目安指標

「下水道事業経営委員会答申（R3.2.22）」

経費回収率（**100%未満**は使用料<経費となり，独立採算とは言えない）

経費回収率（3頁）

「令和3年度柏市下水道事業会計決算」

101.7%

当面の方向性

当面，短期の収支・資金繰りには，大きな問題は生じない見込み

類似団体，近隣市と比較しても同程度（あるいは同程度以上）の経営状況

⇒ **現時点では早急の改定を要する状況とは言い難い**が，**新型コロナの使用料**

収入への影響，**電力費の高騰（流域下水道維持管理負担金の状況）**に関する

動向を注視し，経費回収率，収支及び資金繰り等への影響を見極めていく。¹¹